

学校教育目標	中・長期的目標	総合評価
1 高い知性と豊かな心、健やかな体を育み、自ら考え探究する力を養う。 2 個性や能力を伸ばし、自主・自立の精神と敬愛・協同の精神を培う。 3 社会の一員としての自覚を高め、進んで社会に貢献する人物を育てる。 4 国際社会を深く理解し、平和を希求する人物を育てる。	(1) 生命・人権尊重の精神と敬愛・協同の精神を養い、安心・安全な学校づくりを行う。	
	(2) 生徒の主体性を育み、個性の伸長と智・徳・体の育成を図り、探究的な学びを通して学力の向上を図る。	
	(3) 開かれた学校づくりと地域や外部機関との連携を推進し、生徒の社会参画の力と未来を創造する力を育てる。	
	今年度の重点目標(評価項目)	成果と課題
	① 互いの存在を認め合う人間関係を構築するため、様々な場を通じて人権意識の啓発と尊重に取り組む。	
	② 学校全体で「探究的な学び」に取り組むとともに、将来展望をふまえた多様な学びや学校のあり方を検討する。	
	③ 進路実現に向け、生徒自らが考える力の育成を図るための「主体的・対話的で深い学び」ができる授業を推進する。	
	④ 学校と家庭、地域との連携及び協力のもとに教育活動を進めるとともに、情報発信の充実を図る。	

A(よくできた) B(だいたいできた) C(やや不十分) D(不十分)

重点目標	評価項目	主となる分掌	評価の観点	評価%				成果と課題	改善策
				A	B	C	D		
①	互いの存在を認め合う人間関係を構築するため、様々な場を通じて人権意識の啓発と尊重に取り組む。	1学年	・生徒ひとり一人が、高校生活に適応し、新たに出会った仲間と絆を深めていけるよう支援することができたか。そのうえで、進路への意識を明確にし、日々の学習に対して前向きに取り組めるよう指導することができたか。						
		2学年	・学校生活の諸場面において、他を理解し、尊重する態度を育むことができたか。特に文化祭や研修旅行などの行事を通しては、周囲と折り合いを見つけながら一つ一つのものを創り上げる達成感を味わうよう支援することができたか。						
		3学年	・最上級生としての自覚を持ち、生徒会活動やクラブ活動などに主体的に関わるよう支援することができたか。また、進路指導を通して、生徒一人一人が自分の生き方を決定し、将来をデザインできるように支援することができたか。						
		生徒会係	・生徒会活動・クラブ活動等の自主活動を充実させ、生徒一人ひとりが活躍できるよう支援することができたか。						
		生活指導係	・人権尊重と、いじめ・暴力のない安心安全な学校づくりができたか。 ・多様な生徒に対し、生徒相談の体制を充実させる事ができたか。						
		保健環境係	・生徒の心身の健康を支援する活動や全体での取組みができたか。						
		環境整備係	・校舎を長く気持ちよく使えるように美化に努め、望ましい教育環境の整備ができたか。						
②	学校全体で「探究的な学び」に取り組むとともに、将来展望をふまえた多様な学びや学校のあり方を検討する。	各教科	・各教科の特性を踏まえ、ICTの有効的な活用を含めた生徒の能力や個性および各学科の実態に即した指導を研究することができたか。						
		普通科	・多様な生徒の能力、個性、進路希望に応じた学習環境を整備し、進路指導することができたか。						
		探究科	・探究活動や課題研究の中で、各教科で学んだ知識・技能を応用することで学習の深化・高度化を図れたか。 ・国際的・多規模の視野を持ち、課題発見力、解決力及び情報発信力を育成できたか。 ・高い目的意識と進路実現に向かう姿勢をつくることができたか。						
		スポーツ学科	・学科の特徴を踏まえ、生徒の能力・個性に応じた指導で学力を伸ばすことができたか。 ・専攻種目の指導を通して、競技力の向上を図ることができたか。 ・課題研究に積極的に取り組むことで、課題発見能力、課題解決力とプレゼン能力を伸ばすことができたか。						
		学校運営会議	・SSH第Ⅲ期の指定や昨年度より実施されている新学習指導要領をふまえて、「3つの方針」「グランドデザイン」のブラッシュアップを含めた将来展望について議論を深めることができたか。						
		カリキュラムマネジメント委員会	・学習指導要領改訂に伴う新教育課程について、各部署から意見を集約し、よりよいあり方を検討できたか。 ・新たな評価のあり方の研究を進めることができたか。 ・シフトの集約・提示を行うことができたか。						
		③	進路実現に向け、生徒自らが考える力の育成を図るための「主体的・対話的で深い学び」ができる授業を推進する。	各教科	・授業内容、授業方法について各教科で研究し、課題を発見する力など、社会が求める「新しい学力」の向上を目指すことができたか。				
進路指導係	・「主体的・対話的で深い学び」の取り組みを通じ、進路意識の向上と生徒一人ひとりの進路実現を図ることができたか。 ・模擬試験の分析結果等を学年・教科・生徒と共有し、生徒自身の主体的で深い学びへとつなげることができたか。 ・学びの基礎診断等の結果を分析し、授業に取り組む姿勢や家庭学習の問題点を明らかにし改善することができたか。								
飯山カリキュラム委員会	・地元の小中学校と連携をとり、数学・英語を中心に各教科の学力向上のための取り組みができたか。								
SSH委員会	・各教科の「主体的・対話的で深い学び」ができる授業」を開発実施することで生徒の興味と疑問を喚起し課題研究に繋げることができたか。 ・「課題研究」を中心に据えた教育プログラムにより課題発見力・設定力・解決力及び情報発信力を育成することができたか。 ・ルーブリックやポートフォリオを活用することで、生徒の成長や教員の授業改善に繋げることができたか。 ・科学フェスティバルや対外的な活動に参加するなど、積極的に情報発信できる生徒が増加したか。 ・第Ⅲ期の中間評価において、上記の成果について一定の評価を得ることができたか。								
④	学校と家庭、地域との連携及び協力のもとに教育活動を進めるとともに、情報発信の充実を図る。	教務係	・学校HPや飯高ジャーナル等を通して情報を速やかに発信することができたか。 ・公開授業や体験入学に多くの参加者を得ることができたか。						
		PTA厚生係	・PTA総会、支部PTA総会への参加率向上が図れたか。 ・PTA行事の企画運営を保護者とともに進めていったか。 ・PTA会報の発行等とおして情報発信が図れたか。						
		生徒会係	・活動内容・時期の見直し・精選等が行えたか。 ・生徒が自主的に地域の行事へ参加し地域の方と協力できるよう生徒会活動・クラブ活動等を支援することができたか。						
		同窓会係	・桂宮会WEBサイトや桂宮会報によって多くの情報を発信することができたか。 ・創立120周年記念事業実行委員会による記念事業が、滞りなく行われたか。 ・同窓生による「ホームカミングデー」の企画検討(次年度以降に実施)が進						